

教育委員長に 佐藤孝委員が就任

昨年十二月十八日、役場千畑庁舎で開かれた教育委員会において、委員の互選により佐藤孝委員が教育委員長に選出されました。

就任ごあいさつ



教育委員長
佐藤 孝

「美郷町民が生涯にわたって自分自身の向上をめざす教育風土の醸成」と「子どもたちの健やかで確かな成長を保障」する教育行政の充実に努めて参りたいと存じますので、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

恒久平和の実現を願う

美郷町非核平和宣言

我が国は世界で唯一の被爆国として、この地球上に再び広島・長崎の惨禍を繰り返さぬよう、世界に訴えていかなければなりません。

しかし、核兵器の増強は依然として続けられ、世界平和と人類の生存に大きな脅威をもたらしています。

本町は、日本国憲法の基本理念であり、人類共通の念願である恒久平和に向けて、将来にわたって非核三原則が遵守され、あらゆる国の核兵器廃絶、軍縮が推進されることを強く希求します。

平成十九年十二月二十日、本町は平和の誓いを新たに、この世界が核兵器や戦争のない平和な世界となるように念願し、非核平和宣言をしました。

「地販地消」の推進に向けて 地域内消費はまちづくりの大きな原動力



町では、町内産品などの地域内流通と消費拡大を促し、町内経済の活性化に向けた具体策を話し合うため、昨年五月に美郷町地販地消推進会議の初会合を開いたのを皮切りに、六月にかけて町内の消費者が集って自由な意見交換を行う「しゃべり場」を開いたほか、七月から八月にかけては名水市場湧太郎で「みさこの朝市」を週末に開き、農産物や加工品、衣料品などの販売を通じて、商店街のにぎわい創出のきっかけとなる試みを行ってきました。

また、町民により結成された「にぎわい創出隊」によるワークショップを三回開き、町内資源を活用して、生産・製造・販売などを町内で行える地販地消に向けた具体策について町に提案していただきました。

同会議ではワークショップの提案などを受けて、今年三月までに「美郷町地販地消推進計画」を策定します。

美郷町非核平和宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

世界で唯一の核被爆国の国民として、

核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を

世界の人々に訴えていかなければなりません。

非核三原則の堅持と恒久平和の実現を願い、

地球環境を守ることを決意し、

ここに非核平和を宣言します。

平成十九年十二月二十日 美郷町

訃報



元千畑町長
坂本 喜助氏 死去

元千畑町長の坂本喜助氏(千屋北部)が一月十八日にご永眠されました。

同氏は旧千畑村議を経て昭和五十三年五月から村長を、町政施行後の昭和六十一年三月から同五月まで町長を、合わせて二期八年務められました。

ご生前の功績を偲び、心からのご冥福をお祈りいたします。



▲名水市場湧太郎で開かれた「にぎわい創出隊」のワークショップ(1月10日)

皆様のご意見をお待ちしています

美郷らしい町内経済活性化策についてご意見やご要望がありましたら、お気軽に町商工観光課へお寄せください(折り込みのご意見ハガキをご利用ください)。

簡易水道料金等の過徴収分還付及び 福祉灯油購入費助成に係る補正予算等を可決

平成二十年第一回町議会臨時会が一月十五日に開かれました。

今回の臨時会では、このほど判明した簡易水道料金、公共下水道使用料及び農業集落排水使用料の過徴収に係り、過年度分の還付金として総額七十五万円及び料金算出に用いる電算システムの改修費用として総額九十万円を補正しました。

また、昨今の灯油価格の高騰が高齢者世帯などに大きな経済的負担を与えていることから、高齢者世帯を主とする町民税の非課税世帯(一部を除く)に対して、一世帯あたり五千円の灯油購入費を助成するため、対象となる約一千世帯分、五百万円を補正しました。

なお、簡易水道料金等の過徴収に係り、その事務処理の管理監督責任を取るため、二月分の給料月額を町長が十%、副町長が五%、それぞれ減額することについて上程し可決されました。

簡易水道料金等の過徴収分還付及び福祉灯油購入費助成の詳細については、一月十六日発行の広報お知らせ版をご覧ください。

職員人事異動(一月一日付)

()内は前職

【福祉保健課】

▽医療保険班主任(国体室国体推進班主事)
武藤 智子

【建設課】

▽上下水道班主任(国体室国体推進班主事)
高橋 泉

風

「情熱の往くところ」

美郷町長 松田 知己



来年度当初予算査定に取り組む松田町長
(1月21日、六郷庁舎会議室にて)

まずもって、水道料金等の過徴収につきまはは大変にご迷惑をお掛けしました。適切な事務推進には目配りをしてきたつもりですが、管理監督が充分に行き届いておりませんでした。改めて皆さんにお詫びを申し上げます。今後、一層注意を重ねてまいります。

この事でへこみ気味だった私は、先般、ある方から元氣と勇氣を頂きました。千畑地区にお住まいの戸沢恭助さん。氣骨ある明治のお生まれの九十九歳。素晴らしい音感とリズム感、声量で、年齢をまったく感じさせない歌がある場所で披露され、私は率直に感動しました。サムエル・ウルマンの詩「青春にある」年を重ねただけで人は老いない」という一節を思い起こすと同時に、戸沢さんの元氣の秘訣に思いを回らしました。

「好きこそ物の上手なれ」継続は力なり」「一途に一つ事」。いろいろと言葉が浮かんできま

したが、結局はサムエル・ウルマンの詩と同様、情熱に帰着しました。情熱は伝播します。だからこそ私は、戸沢さんの歌と姿に勇氣と元氣を感じたのだらうと内観しました。そしてこうした情熱や一途さは、全ての事柄に共通するであろうことも思った次第です。

さて先日、今年の米の生産目標数量等を農家の皆様にご連絡いたしました。いわゆる転作を若干強化する内容で、これまでの苦勞を考えると「またか」とへこんでしまうかも知れません。しかし、消費の現状を考えると仕方ありません。ここは一つ、農業への情熱といつかは必ず展望が開けるといふ想いを大切に、どうかご協力をお願いいたします。国に呼応して、町でもそうしたご協力にはお応えしていくようがんばります。また、そうした想いと取り組みは必ず消費者の心に届くとともに、努力は報われると私は信じております。

福田首相は今年の施政方針で、石川理紀之助翁の「井戸を掘るなら、水が湧くまで掘れ」という言葉を引用しました。この言葉の核心には、決して諦めない情熱と努力が存在しています。石川翁や福田首相には比べ様もありませんが、私も情熱をもって、さあ、がんばるぞ。 (戸沢さん、ありがとうございます。)

2月のふれあい談話室

2月21日(木) 役場千畑庁舎 1階応接室
午後5時から午後6時30分

問い合わせ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班
☎0187(84)4900

移動町長室

町長が毎週火曜日に仙南庁舎、木曜日に千畑庁舎で執務しています。
(会議への出席などにより、実施できない場合があります)